

# 褥瘡予防対策指針

社会福祉法人 友愛会

## 1. 基本方針

高齢者は、加齢や疾病等による様々な心身の変化により、褥瘡の発生リスクが高くなります。褥瘡は、身体機能の悪化、及び生活の質の低下に直接影響を及ぼします。

当法人では、当法人の理念に基づき、より質の高いサービスを提供することを目標に、組織全体で褥瘡の発生防止及び早期発見・早期治療に取り組めます。

## 2. 職員の責務

当法人の職員は、褥瘡に関する基礎知識を持ち、日常的なケアにおいて褥瘡予防に努めなければならない。また、褥瘡予防及び治療に関する知識・技術の習得に努めなければならない。

## 3. 推進体制

### (1) 褥瘡対策委員会の設置

褥瘡発生の予防と早期対応を効果的に推進するために、褥瘡対策委員会を設置します。

### (2) 多職種協働によるチームケアの推進

各職種による専門性に基づくアプローチからのチームケアを目指し、各職種が責任を持って対応します。

### (3) 教育・研修

褥瘡予防及び早期発見・早期治療に関する知識・技術の習得のため、職員に対して定期的に研修を行います。

## 4. 褥瘡対策委員会

### (1) 構成員

部署・役職	役割
施設長	統括責任者、委員会の招集
事務長	記録、研修担当
部長	安全対策担当者、研修担当
介護主任	介護技術担当
通所主任	通所関連担当
看護主任	褥瘡対策責任者、医師・病院との連携
介護支援員	家族連絡（長期入所者）
生活相談員	家族連絡（短期入所者）
管理栄養士	栄養担当

### (2) 開催

年に4回(概ね3カ月に1回)定期的に開催します。また、必要に応じて随時開催します。

### (3) 検討内容

- ① 褥瘡予防及び早期発見・早期治療に関する体制に関すること。
- ② 褥瘡の発生状況と対応状況の確認。
- ③ 褥瘡予防・治療に関する福祉用具について。
- ③ 褥瘡発生事例の問題点の抽出と対策の検討。
- ④ 褥瘡の予防・治療等に関する研修の実施について。
- ⑤ その他、褥瘡予防及び早期発見・早期治療に必要な事項について。

## 5. 教育・研修

(1) 年2回(概ね6ヶ月に1回)以上定期的に開催します。

(2) 新任職員の入職時に行います。

(3) 外部の研修への積極的な参加をします。

## 6. 褥瘡予防及び治療の対応

### (1) リスク評価

褥瘡発生リスクの評価を、入所時及びケアプラン更新時等にOHスケールを使用して行います。また、必要に応じてブレイデンスケール等も使用します。

### (2) 褥瘡予防のケア

ご利用者の状態に合わせた福祉用具の使用や介助方法等、褥瘡予防に配慮したケアを提供します。

### (3) 早期発見

排泄介助及び入浴介助等の際に皮膚の状態観察を行い、褥瘡になりそうな箇所や褥瘡発生が見られる箇所がないか確認します。

### (4) 早期治療

褥瘡になりそうな箇所や褥瘡の発生が見られた場合は、看護師に報告するとともに指示を仰ぎ、多職種で情報共有して遅滞なく対応します。

## 7. 専門家との連携

褥瘡予防のために、法人外部の医療、栄養、介護、介護機器等の専門家と積極的に連携を図り、資質の向上に努めます。

## 8. ご利用者等の本指針の閲覧

本指針は、ご利用者及びご家族等の求めに応じて、いつでも閲覧することができるようにするとともに、外部の方に対しても閲覧が可能なよう、事務所への配備とホームページへの掲載を行います。